

県土整備部 平成23年度当初予算のポイント

～ 経済対策など緊急の課題に対応する「骨太の骨格予算」！ ～

県土整備企画室

予算額

(単位：百万円、%)

23年度当初予算	22年度当初予算	増減額	増減率
66,875.5	75,755.8	8,880.3	11.7

重点化する施策と主な構成事業

平成23年度当初予算は、いわゆる「骨格予算」であり、新規事業や政策的な経費については、今後、6月補正予算として編成する予定です。

当初予算における3つの視点

平泉の文化遺産を核とする観光振興

地域経済の活性化

県民誰もが安心して暮らすことができる地域の基盤づくり

産業を支える社会資本の整備

産業を支援する幹線道路ネットワークの構築などの推進、港湾や空港の整備と利活用の促進に向けた取組を展開します。

- 幹線道路ネットワークの構築
- 地域間の交流・連携の基盤となる道路整備の推進
- 港湾の整備と利活用の促進
- いわて花巻空港の整備と利用の促進

安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備

地震や津波、洪水、土砂災害などから、県民の安全・安心を確保するため、防災施設の整備やソフト施策を推進します。また、県民がいきいきと暮らせる社会を実現させるため、地域医療を支援する道路整備や歩道や道路防災施設の整備に取り組みます。

- 地震・津波災害対策の推進
- 洪水・土砂災害対策の推進
- 日常生活を支える安全な道づくりの推進

豊かで快適な環境を創造する基盤づくり

道路等の都市基盤整備やユニバーサルデザインによる公共施設等の整備、地域特性を活かし省エネにも配慮した居住環境づくりや良好な水辺空間の保全と整備、生活排水対策などを進めていきます。

- 環境に優しいコンパクトな都市づくりの推進
- 美しく魅力あるまちづくりの推進
- ひとにやさしいまちづくりの推進
- 地域特性を活かし省エネにも配慮した居住環境づくりの推進
- 良好な水辺空間の保全と整備の推進
- 衛生的で快適な生活環境の確保

社会資本の維持管理と担い手の育成・確保

社会資本の維持管理を「事後保全型」から「予防保全型」へ移行し長寿命化を図ると共に、県民との協働により取り組みます。また、社会資本整備や住宅づくりの担い手である建設企業を育成・確保する環境整備を進めます。

- 維持管理計画に基づく適切な維持管理の推進
- 住民との協働による維持管理の推進
- 担い手としての建設企業の育成・確保

県土整備部の平成23年度当初予算のポイント、実施する主要事業の詳細は、こちらのHPをご覧ください！

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=2160&of=1&ik=3&pnp=17&pnp=66&pnp=2156&pnp=2160&cd=30366>